



いちよう

発行日 平成28年5月13日
発行者 小山市立福良小学校長
中島 利雄

大型連休が明けて

4月末からの大型連休が終わりました。1学期の3分の1が過ぎ、夏休みまで約60日あまりとなります。学校生活のリズムを取り戻し、学習や学校行事に積極的に取り組んでほしいと思います。

1年生を迎える会開催

1年生が入学して1か月が経ちました。学校にも慣れ、毎日元気に過ごしている1年生。そんな1年生と上級生がさらに仲良くなれるようにと、児童会が中心になり、迎える会を企画しました。1年生の自己紹介では一人一人自分の名前と好きな遊びや食べ物を発表し、自己アピールしました。○×クイズでは、福良小の職員や施設について知ることができ、太鼓の数だけ集まれゲームでは、鳴らされた太鼓の数の人数に素早く集まり、自己紹介をしてみんな親しくなることができました。最後に、2年生から1年生へプレゼント贈呈がありました。1年生は学校という場で、同級生や上級生、先生方などとの関わりを通して、学習面や集団生活面で、いろいろなことが「わかる」そして「できる」ようになってください。上級生も、1年生のよきお手本となるようにお願いします。



◎本校の特色ある教育活動から…その1「英語教育」



現行の学習指導要領（各教科等のどんな内容を、どの段階から年間にどのくらい教えるかということ国で法的に定めた基準）では、小学校5年生から英語の授業がはじまることになっていますが、小山市では、国の教育課程特例校制度（学習指導要領に定めた基準にとらわれないことができる）を活用して、小学校1年生からの英語授業

をおこなっています。通常、小学校には、中学校のような教科担任制ではないので、学級担任が単独またはALT（外国語指導助手）とのTT（チーム・ティーチング）で教えることが一般的ですが、本校ではさらに、中学校英語の免許を持ち実際に指導経験のある教頭先生が加わり3人体制での子どもたちによりわかりやすい授業に取り組んでいます。学習指導要領はほぼ10年ごとに改訂されます。平成32年からの全面実施に向け現在見直しが進められ、英語教育の在り方について検討されていますが、本校の取組は国の方向性を先取りするものです

◎登下校の際の「見守りボランティア」募集

これからの学校は、教職員だけで運営するのではなく、地域の協力を得て、地域とともに学校づくりをしていく時代と言われています。そのためには、ボランティアの力が欠かせません。本校でも既に学習面を中心に多くの方にお世話になっています。文書でのお願いもしていますが、子どもたちの安全・安心のため、登下校時の見守りボランティア（学校でベストを用意します）を募集しています。可能な方は、学校までお知らせ願えれば幸いです。